

第 183 回 学長定例記者会見

日時：令和 7 年 9 月 29 日（月）11：00 ～ 11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟 3 階 大会議室

（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. AMED の「医学系研究支援プログラム（特色型）」に広島大学を代表とする「HK²-MIRAI」が採択されました
2. 文部科学省「半導体人材育成拠点形成事業」に採択されました
3. 文部科学省「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」に採択されました
4. 呉市に「広島大学海洋・海事未来研究所」を新設
～海洋ガバナンス、技術開発や人材育成の国際的拠点へ～（10/1 設置）
5. 産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）のネーミングライツ募集について

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. アジア大洋州医療関連共同研究講座の設置について（10/1 設置）
3. ひろティー&カープコラボグッズ新商品のお知らせ
「ひろティー」と「カープ坊や」のタオルマフラーを製作しました！
4. 広島大学 原爆放射線医科学研究所被爆 80 年企画展示
『グビロが丘の祈り、フェニックスの誓い』を開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 7 年 10 月 31 日（金）

場所： 広島大学 東広島キャンパス



令和 7 年 9 月 2 9 日

**AMED「医学系研究支援プログラム（特色型）」に
広島大学を代表とする「HK²-MIRAI※」が採択されました**

2025 年 8 月 21 日、広島大学を代表、神戸大学・熊本大学を連携機関とする「広島・神戸・熊本 医療革新・研究共同推進イニシアティブ(HK²-MIRAI)」が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「医学系研究支援プログラム」（特色型）に、採択されました。

※ Hiroshima-Kobe-Kumamoto Medical Innovation and Research Alliance Initiative の略

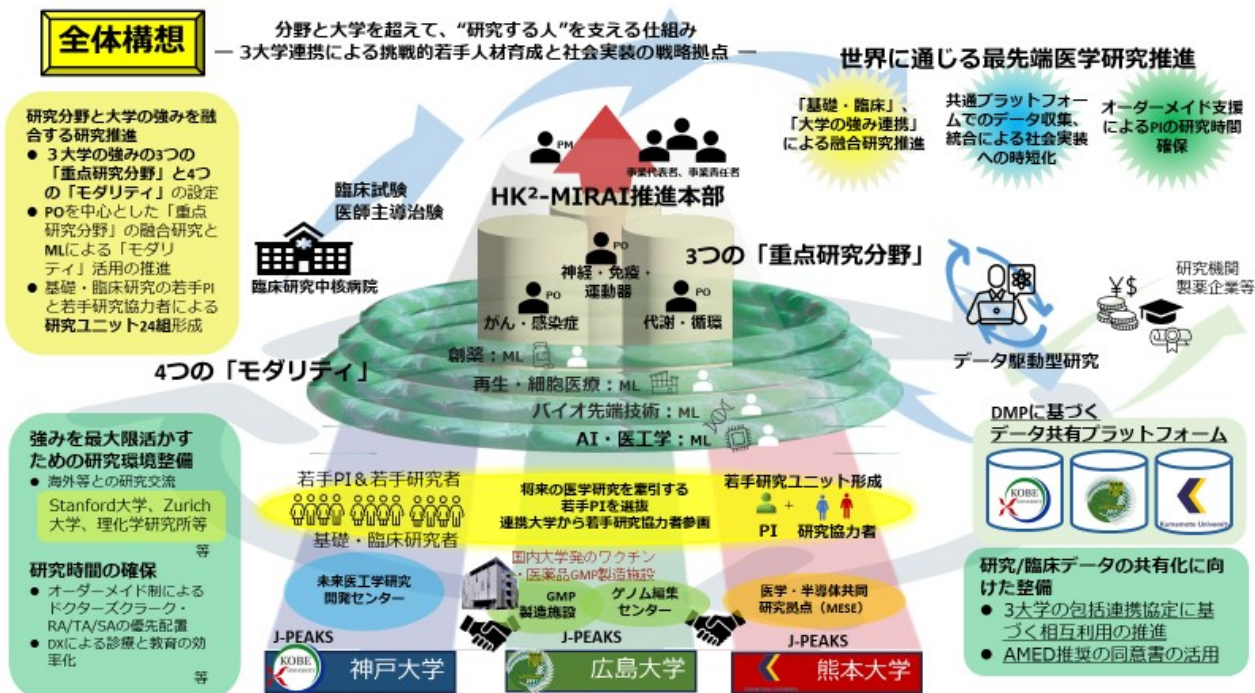
「医学系研究支援プログラム」事業は、単独機関が実施する「総合型」（1 件 7.2 億円）と複数機関が連携して実施する「特色型」（1 件 13.8 億円）があり、広島大学は神戸大学・熊本大学と連携し、特色型として申請しました。全国 17 件の応募のうち採択は 6 件のみで、中・四国地域では広島大学が唯一の代表機関です。3 大学には今年度から 3 年間で総額 13.8 億円（研究費 10.8 億円、研究環境整備費 3 億円）が支援されます。

本事業は、大学病院や医学部における研究環境を強化し、「国家戦略上重要な研究課題」への取り組みを加速させることを目的としています。研究費だけでなく、研究基盤や人材育成、教育 DX など環境整備が支援対象となる点が大きな特徴です。

「国家戦略上重要な研究課題」への取り組みとして、3 大学の強みである「がん・感染症」「神経・免疫・運動器」「代謝・循環」を選定し、基礎から臨床までの多様な研究者が協働します。加えて、4 つのモダリティ（創薬、AI・医工学、再生・細胞医療、バイオ先端技術）を生かし、最先端の研究開発を推進します。

研究環境整備では、3 大学が連携し、診療・教育・研究の状況に応じて、研究者が必要な支援を選べるオーダーメイド型の仕組みを導入し、研究に専念するための環境整備を進めます。また、共通プラットフォームを活用したデータ収集・統合によって社会実装の迅速化を目指し、他機関のモデルとなる取り組みも展開します。

これらの取り組みにより、3 大学が連携して、世界トップレベルの研究成果を創出し、迅速な実用化につなげることで、人々の健康・医療課題の解決に貢献していきます。



国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）ホームページ
https://www.amed.go.jp/koubo/16/01/1601B_00076.html

【お問い合わせ先】

医療政策室医療政策部医療政策・医学系研究推進グループ 浅越（あさごえ）
 TEL:082-257-1576
 E-mail: iry-fgl@office.hiroshima-u.ac.jp



令和 7 年 9 月 29 日

文部科学省「半導体人材育成拠点形成事業」に 採択されました

広島大学は、文部科学省「令和 7 年度 大学教育再生戦略推進費 半導体人材育成拠点形成事業（enSET）」および「令和 6 年度補正 大学教育再生戦略推進費 半導体人材育成拠点形成のための設備整備事業」において、拠点校として採択されました。本学を含む全体の申請 12 件のうち、採択されたのは 8 件（事業全体を統括する運営拠点校含む）で、本学は中四国地方を取りまとめる拠点校として採択されました。

令和 7 年度事業の補助期間は、令和 7 年度から同 11 年度までの 5 か年度で、毎年度 1 億 5 千万円を上限として予算が配分されます。令和 6 年度補正事業の補助期間は、令和 7 年度の 1 年度で、1 億円を上限として予算が配分されます。

本事業は、岡山大学・山口大学・愛媛大学を連携校とし、「中四国半導体人材育成加速プログラム - 中四国 VISTA（Value-Integrated Semiconductor Talent Acceleration）」として実施します。

本事業では、大学院修士レベルを主対象とした体系的かつ実践的な教育プログラムを構築し、設計や製造のみならず幅広い応用やユースケースまでを俯瞰できる人材を育成します。さらに、マイクロンメモリジャパン株式会社、せとうち半導体コンソーシアム参画企業、中国地域半導体関連産業振興協議会など産業界とも連携し、サプライチェーン全体を見据えた教育内容を展開します。これにより、産学官が一体となって実践的教育を推進し、今後 10 年間で約 3,000 人の人材育成を目指します。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

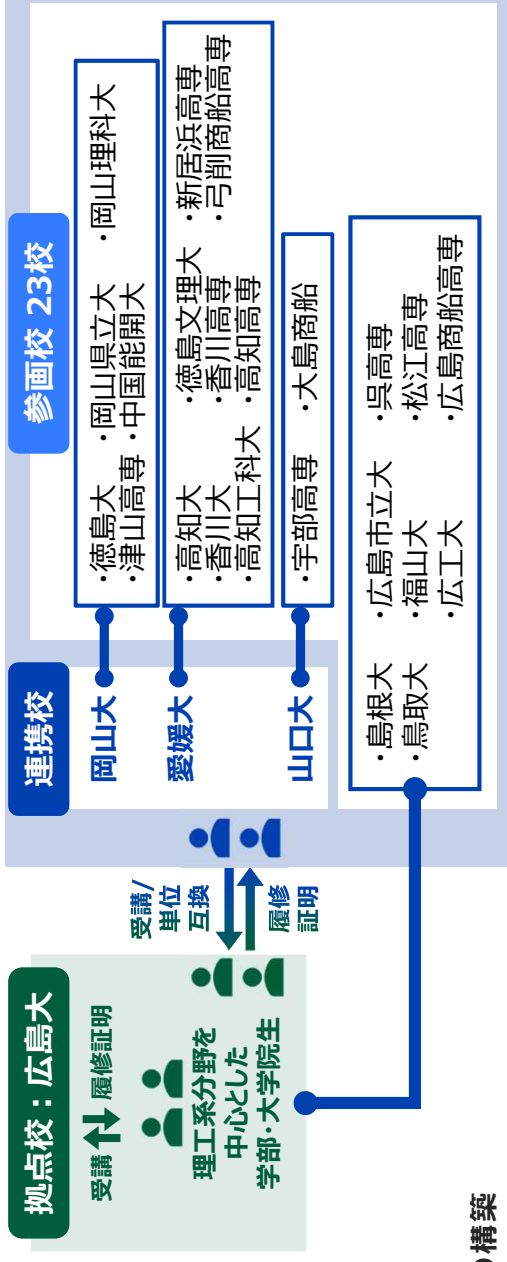
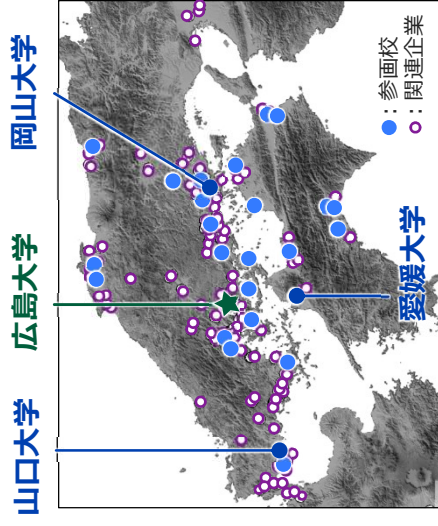
未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良

TEL:070-6645-2583

Mail : gakujutu-ura-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

中四国VISTA (Value-Integrated Semiconductor Talent Acceleration)

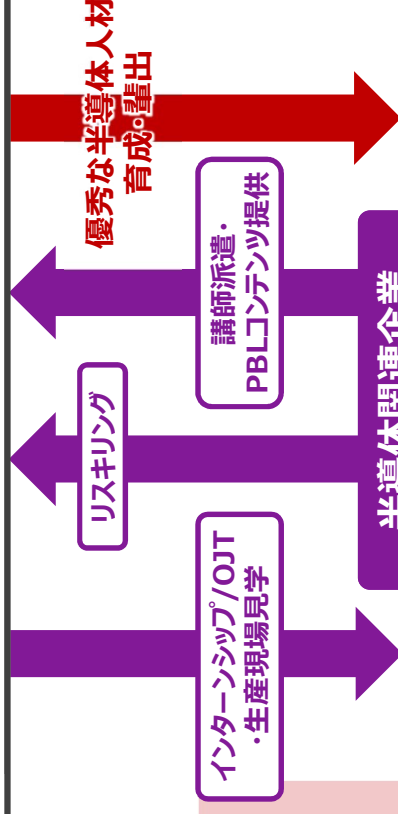


中四国地域全体での広域連携体制の構築



関連プロジェクト

- Green-niX
- ARIM Japan
- UPWARDS
- LSTC・全国半導体育成拠点
- JST TopのためのASPIRE
 - 無線テラヘルツ技術に関する国際研究イニシアティブ(GROW-THz)
 - 半導体ヘテロジニアス集積デバイスのためのIV族混晶材料の汎用量子物性制御



- マイクロンメモリアパン(リカレント教育プログラムに参画)
- その他 せとうち半導体コンソーシアム企業 27社
- その他 半導体企業(中国地域半導体関連産業振興協議会加盟企業218団体)

行政

- METI中国経済産業局
- 中国地域半導体関連産業振興協議会(広島県・広島市・東広島市を含む官公庁14団体)
- 愛媛県・西条市

就職支援



令和 7 年 9 月 29 日

文部科学省「未来を先導する世界トップ
レベル大学院教育拠点創出事業」に採択されました

文部科学省が実施する「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」は、「徹底した国際拠点形成（国際化）」と「徹底した産学連携教育」の実施を通じて、豊かな学識と国際性、高度な実践性を身に付けた博士人材を育成する機能を高めるとともに、組織内の資源配分の見直し等を通じて、質の高い博士人材の増加を図る大学院教育拠点の形成を支援することを目的としています。

本学は、本事業において「総合型」（研究科等を越えて変革を目指す総合大学における全学的な取り組み）に、中四国 7 大学（島根大学、岡山大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）を参画大学として申請し、令和 7 年 9 月 16 日に採択されました。

本学を含む全体の申請 28 件（総合型 18 件、特色型 10 件）のうち、採択されたのは 6 件（総合型 4 件、特色型 2 件）のみで、西日本地域では、広島大学が唯一採択されました。

本事業の補助期間は令和 7 年度から同 13 年度までの 7 か年度で、初年度は 3.65 億円を上限として予算が配分されます（補助期間最終年度の前年から段階的な予算削減措置あり）。

本学は、「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成を目指し、以下の取り組みを実施します。

- ・ 大学院教育マネジメント改革と人事制度改革の実施
- ・ 「世界トップレベルの大学院教育を目指す国際拠点形成構想～ASEAN・南アジア・アフリカ諸国と欧米諸国を繋ぐ国際ハブ大学構想～」による国際化の達成
- ・ Industry Advisory Board との共創による全分野での徹底した産学連携教育の実施
- ・ 参画大学と協力し、トランスファラブルスキルを持った博士人材の教育を実施し、地域発の日本のイノベーションを創出

これらの取組を通じて博士教育の質向上と博士人材輩出数の拡大を図ることで世界的大学院教育拠点を形成し、日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士人材の育成を推進して参ります。

【お問い合わせ先】

教育室教育部教育推進グループ

副グループリーダー 辻 誠

TEL：082-424-7133

E-mail：leading-program-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



構想概要 本学の先駆的な大学改革を発展させた「徹底した大学院システム改革」を基盤として、「世界をつなぐ国際拠点形成」と「徹底した産学連携教育と出口開拓」を推進し、日本のイノベーションを推進するリーダーとなる博士人材を育成する世界的大学院教育拠点を形成する

成果指標

- 博士課程への入学者数
- 博士の学位授与件数
- 学士号取得者に対する博士号取得者の割合



【海外大学との連携】

海外協定大学

The Birla Institute of Technology & Science, Pilani
インド学部 4 + 広大博士前期 2 プログラム (150人規模)

Indian Institute of Management Ahmedabad
ビジネスプログラム のスキーム導入

Thai Nguyen University of Agriculture and Forestry
ベトナムサテライト キャンパス

Arizona State University
研究マネジメント人材の育成

博士人材の多様なキャリアパスに対応したキャリア別教育プログラムの展開

世界をつなぐ国際拠点形成

— ASEAN・南アジア・アフリカと欧米をつなぐ国際ハブ大学 —

- ・ 研究室単位の海外サテライトラボの形成
- ・ 若手教員 + 博士学生の派遣と受入教員の招致による国際的人材循環の実現
- ・ 国際的大学・大学院接続プログラムの拡大による ASEAN・南アジア・アフリカの留学生獲得
- ・ Town & Gown構想による留学生博士人材を対象とした地域定着型キャリア形成プログラムの実施

世界トップレベル研究者 研究マネジメント人材 高度専門人材

徹底した産学連携教育と出口開拓

— Industry Advisory Board との共創 —

- ・ 博士学生と各参画大学の企業等ネットワークを活用したコミュニティ形成
- ・ 研究指導教員とモデレーター（博士人材力指導者）のダブル指導制度による博士人材育成
- ・ 大学や研究科等を越えた異分野の博士課程学生が共学するイノベーション・シンククラスでのPBLの実施
- ・ 社会人博士の学び直し 2 つ目博士号取得の促進

徹底した組織マネジメント改革

- ・ 「教育・国際・産学・地域連携」を連動させる組織横断型マネジメント
- ・ 大学院を統括する組織縦断型マネジメント
- ・ 博士課程教育体制の充実に向けた人材マネジメント (博士課程教育重点教員制度の全学実施)
- ・ 学部から大学院へ資源のシフト

広島大学大学院教育推進機構による徹底した大学院システム改革

- ・ 若手教員 + 博士学生の派遣
- ・ クロスポイントメント
- ・ 日本で就職する留学生受入
- ・ 教員の受入

新たな課題

留学生出身地の偏りと修了後地元未定着

研究科等を越えた異分野融合と学生交流

博士課程学生受入数の教員間格差

博士課程学生の志向(偏重 (アカデミア志向、国内志向))

博士課程学生の人脈形成と就職先の開拓

先駆的な大学改革

インド6大学等とのリンケージ型プログラム (3 + 1 プログラム)

大学院11研究科を4研究科に再編

教員人事の全学一元管理

Town & Gown 構想を軸とする地域課題解決及び産学官共創

研究者養成プラットフォーム HIRAKU、SPRING事業、BOOST事業

中国地域の大学による博士研究者ポートフォリオの共同実施

企業・自治体等との連携
Town & Gown 構想
スマートシティ共創
コンソーシアム
Peace & Science Innovation Ecosystem
せとうち半導体コンソーシアム など

- ・ 連携教育・インターンシップ
- ・ 出口開拓・社会人学生受入

中国地域
博士人材教育
コンソーシアム
(本事業参画大学)
鳥根大学 岡山大学
山口大学 徳島大学
香川大学 愛媛大学
高知大学

- ・ 教育プログラムへの学生参加
- ・ 産学連携イベントの共同開催



令和 7 年 9 月 29 日

呉市に「広島大学海洋・海事未来研究所」を新設 ～海洋ガバナンス、技術開発や人材育成の国際的拠点へ～

令和 7 年 10 月 1 日、広島大学は、海洋・海事未来研究所を呉市に設置します。

海洋・海事未来研究所は、海洋・海事に関わるものづくりや海運業が盛んな呉市において、海洋法、海洋科学、技術開発などを組み合わせ、海洋の持続可能な利用と管理を目指す海洋・海事に係る学際融合研究の推進に取り組み、教育プログラムの提供及び人材育成、国際連携・産学連携事業等を推進します。

【呉市に設置する背景】

広島大学と呉市は、2023 年 7 月に、海上保安大学校および公益財団法人笹川平和財団との 4 者による連携協定を締結し、「呉市・広島大学 Town & Gown 構想」のもと、海洋・海事分野の国際的拠点形成と地域活性化に取り組んできました。

今回の研究所は、同構想の中核を担うものであり、研究と教育の一体化や産業、地域社会との連携を一層進めます。

【今後の展開】

広島大学は、本研究所を中核として、来年度以降、海洋リモートセンシング技術センターの設置、海洋・海事分野の新たな大学院学位プログラムの開設などを展開する計画です。

また、呉市とともにスタートアップ企業の誘致、国際学会・国際会議の誘致、海洋・海事をテーマとしたまちづくりなどに取り組み、呉市において、アジアにおける新たな海洋・海事の教育研究拠点の形成と海洋文化都市くれの実現を目指します。

【組織概要】

名称：広島大学海洋・海事未来研究所

設立年月日：令和 7 年 10 月 1 日

組織・体制：

所長：陸田 秀実（広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授）

専任教員：4 人

兼任教員：18 人

なお、以下のとおり「広島大学海洋・海事未来研究所開所式」を開催する予定です。本件については改めてご案内します。

1 日時

令和 7 年 10 月 17 日（金）13:30～14:00

◆次第（予定）

- 学長挨拶
- 来賓祝辞（呉市長ほか）
- 所長代理による研究所紹介
- テープカット
- 看板序幕（研究所・練習船基地）

※ 開所式典終了後、施設見学及び豊潮丸体験乗船を実施する予定

（すべて取材可）

14:00～15:00 海洋・海事未来研究所施設見学

14:00～14:30 広島大学附属練習船「豊潮丸」船内見学

14:30～15:10 広島大学附属練習船「豊潮丸」体験乗船

（呉湾クルーズ）

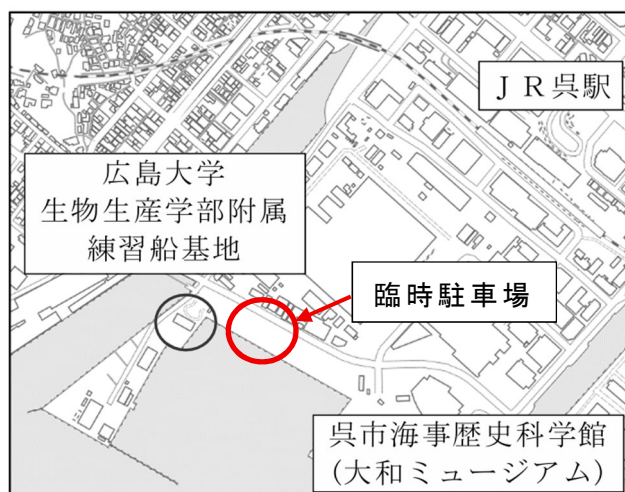
2 会場

広島大学海洋・海事未来研究所（広島大学生物生産学部附属練習船基地）

（広島県呉市宝町 7-4）



臨時駐車場位置図



3 出席者（予定）

- 広島大学 学長 越智 光夫
理事・副学長 金子 慎治
(呉市・広島大学 Town&Gown Office 室長)
研究所長 陸田 秀実(大学院先進理工系科学研究科 教授)
- 呉市 市長 新原 芳明(来賓)
- 呉市議会 議長 中田 光政(来賓)
- 海洋文化都市くれ推進協議会 会員 ほか

【お問い合わせ先】

呉市・広島大学Town & Gown Office
TEL：070-1477-8445
E-MAIL：kure-tgo-admin@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 7 年 9 月 29 日

ダブルユビ・アイ・エスケイ・エムスクエア
産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）
のネーミングライツ募集について

広島大学は、文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」に採択され、WPI-SKCM²（持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所）を運営しております。

また「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に、令和 5 年度に採択されております。

このたび、更なる発展を期し、キャンパス内に「産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）」を建設中です。本新棟は、物質科学の最先端研究を推進し、国際的に活躍する次世代研究者を育成するとともに、産学官連携を一層強化し、我が国の科学技術立国の基盤強化に資する拠点として位置づけております。

この持続可能な研究活動を支えるため、本学は「産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）」内の会議室・交流展示ロビー・アウトリーチスペース等にネーミングライツ（名称命名権）を広く募集することといたしました。ご賛同くださる企業・団体の皆様には、研究棟の名称を通じて永く顕彰し、そのご厚志を広く社会に発信してまいります。

科学技術の進展は、国家の競争力の源泉であり、社会課題解決と未来創造の基盤でもあります。本取組を通じていただくご支援は、若手研究者の挑戦を後押しし、革新的な科学成果を創出して社会へ還元する原動力となると確信しております。

広島大学は、科学技術立国の理念を体現する大学として、研究・教育・社会貢献をさらに推進してまいります。本趣旨にご理解とご賛同を賜り、「産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）」のネーミングライツへのご協力を心よりお願い申し上げます。

詳細は大学ホームページを、ご確認ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/contract/namingrights>



産学官共同研究棟・WPI-SKCM²新棟（仮称）外観イメージ（令和 7 年 12 月 完成予定）



●ネーミングライツ募集対象スペース

会議室（200 席）	約 300 m ²	WPI-JPEAKS 共用施設
アウトリーチスペース	約 150 m ²	WPI 管理施設
TEM 室 （原子分解能分析電子顕微鏡設置室）	約 43 m ²	WPI 管理施設
交流展示ロビー	約 230 m ²	WPI-JPEAKS 共用施設





【お問い合わせ先】

広島大学持続可能性に寄与するキラルノット超物質国際研究所 (WPI-SKCM²)
Marketing & Collaboration 山田 誠二
MAIL:seiji122@hiroshima-u.ac.jp
TEL:082-424-4515

令和 7 年 9 月 29 日

**「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告**

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 広島大学・神戸大学 研究連携ミーティングを行いました

2025 年 8 月 27 日および 29 日、東広島キャンパスにおいて、連携大学である神戸大学と本学の研究者が集い、J-PEAKS 重点拠点のさらなる発展に向けたミーティングを開催しました。

「バイオものづくり」領域では、カーボンニュートラル社会の実現を見据えた共同研究の進捗を確認するとともに、ゲノム編集技術や研究 DX を活用した新しい研究テーマについて、若手研究者から斬新な提案が行われました。

「半導体」領域においては、産業界が求める人材育成を基盤に、フォトリソ技術と集積化技術の融合による革新的半導体開発の可能性について具体的な議論を進めました。

さらに、両大学が整備を進める最先端研究機器の導入状況を共有し、研究成果の社会実装を見据えた協働体制の強化を確認しました。

双方の連携大学が J-PEAKS に採択されているのは、国立では神戸大学と本学のみです。この強みを活かし、未来社会を支える全学的な研究交流を加速していきます。

**(2) アジア最大級のバイオビジネスパートナーリングイベント BioJapan2025 に出展します**

2025 年 10 月 8 日～10 日にパシフィコ横浜で開催される「BioJapan 2025」(公式 HP : <https://jcd-expo.jp/jp/about.html>)に出展します。

J-PEAKS で重点的に支援する医療・創薬関連分野から、臨床応用を志向したバイオ医療分野に関わるテーマや、企業連携や社会実装を見据えた先進的な研究テーマを出展いたします。ご関心のある方は、是非、ご参加ください。

【出展テーマ】

新規高機能スプライシング制御オリゴヌクレオチドをもちいた糖原病 Ia 型本邦好発変異に対する新規治療法開発	岡田賢	大学院医系科学研究科 小児科学・教授
ドナー肝臓由来ナチュラルキラー（NK）細胞を用いた肝臓移植後の肝細胞癌再発に対する補助免疫療法	大段秀樹	大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学・教授
免疫監視誘導 mRNA による難治がん治療創薬	保田朋波流	大学院医系科学研究科 免疫学・教授
ヒトの腫瘍微小環境と治療への反応を再現する新規マウス大腸がんモデルの確立とその応用	檜井孝夫	病院 遺伝子診療科・教授

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略グループ 前田
TEL:082-424-5656
Mail:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



令和 7 年 9 月 29 日

【共同研究講座設置のお知らせ】

「アジア大洋州医療関連共同研究講座」を大学病院に新設

広島大学は、アジア大洋州住友商事会社との連携により、令和 7 年（2025 年）10 月 1 日付で大学病院に「アジア大洋州医療関連共同研究講座」を設置します。

設置の目的

アジア大洋州（APAC）地域における医療水準の向上を目指し、以下テーマに関する調査、及び日本又は先進国モデルを用いた事業化を検討すべく研究活動を行います。

研究内容

- (1) APAC 地域におけるリハビリ分野の調査、及び事業化検討
- (2) 広島大学が主として検討する医療ツーリズム、腎移植等事業化推進
- (3) 住友商事の新規事業創出に向けた医療事情、データ環境、ヘルスケアテック導入等に関する調査・事業化検討
- (4) その他両者間で合意した事項

期待される効果

- ・APAC 地域におけるリハビリ等の医療サービスは、施設、医療従事者の質・量共に改善余地は大きく、今後の高齢化も相まって需要増は確実視されるため、日本をはじめとする先進国での知見を活用し、普及させることで人々の QOL 向上に寄与します。
- ・リハビリ分野に限らず、広島大学病院の医療サービスを APAC 地域に広めることにより、本学のレピュテーションが向上し、さらなる共同研究等の増加につながります。

設置期間

令和 7 年 10 月 1 日 ～ 令和 9 年 9 月 30 日（2 年間）

講座責任者

共同研究講座助教 松本彰紘

経費

総額 4,000 万円

（内訳）	令和 7 年度	1,000 万円
	令和 8 年度	2,000 万円
	令和 9 年度	1,000 万円

【お問い合わせ先】

病院運営支援部総務グループ 持田 謙二
TEL:082-257-5418 FAX:082-424-5087



病院概要

ご来院のみなさまへ

診療科・部門のご案内

施設のご案内

ご相談窓口

Home > 広島大学病院 > 概要 > 寄附講座・共同研究講座

概要

> 病院長・主席副病院長あいさつ

> 役職員

> 病院の理念

> 患者さんの権利と責任について

> 適切な意思決定支援に関する指針

> 個人情報保護について

> 医療安全管理について

> 院内感染対策について

> 診療情報の提供(カルテの開示)について

> 2025年度概要

> 病院評価指標

> DPCデータに基づく病院情報の公表

> 厚生労働大臣の定める揭示事項

> 企業等からの資金提供状況の公表について

> 広島大学病院医療安全監査委員会

> 広島大学病院長候補者選考会議

> 病院機能評価認定取得

> 外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)について

> ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)について

> 広島大学病院ニュース

> 寄附講座・共同研究講座

> 広島大学病院改革プランについて

ご来院のみなさまへ

診療科・部門のご案内

施設のご案内

ご相談窓口

寄附講座・共同研究講座

寄附講座の設置

広島大学病院では、広島都市圏の他の基幹病院との更なる連携を図り、機能分化も進めながら広島県内の高度急性期医療の中心的な役割を果たし、高度で安全な医療を提供しています。更に、急性期を脱した患者や慢性的な疾患患者の積極的な紹介を行い、再入院の減少や在宅医療支援に資する情報提供に努め、近隣県を含めた地域の医療機関との連携も強化しております。

このような中で、広島大学病院では、地域の病院等にご協力いただき、寄附講座の設置を推進しています。地域において専門性の高い診療等を実践し、併せて人材育成を図ることで地域医療に貢献することに繋がります。また、治療等に係る研究の推進は、地域の病院等と広島大学病院双方にとって、更なる医療連携を推進する上でも、非常に有意義な社会貢献活動となっております。

講座名	教員	設置期間
腎臓病地域医療学講座	上席特任学術研究員 土井 俊樹	2020年4月1日～2026年3月31日
広島記念病院高度医療講座	上席特任学術研究員 村上 義昭	2020年4月1日～2026年3月31日
防府消化器病センター内視鏡外科講座	寄附講座准教授 奥田 浩	2021年4月1日～2027年3月31日
広島中央地域医療・侵襲制御医学講座	上席特任学術研究員 向田 圭子	2021年10月1日～2025年9月30日
地域麻酔蘇生学講座	上席特任学術研究員 白石 成二	2021年10月1日～2025年9月30日
消化器内視鏡医学講座	寄附講座教授 桑井 寿雄	2022年4月1日～2027年3月31日
地域創生運動器再生医療講座	上席特任学術研究員 高田 剛志	2022年4月1日～2028年3月31日
広島中央地域・小児医療支援講座	上席特任学術研究員 下田 浩子	2024年4月1日～2026年3月31日
広島中央地域・産科周産期医療支援講座	寄附講座准教授 田中 教文	2024年4月1日～2026年3月31日
急性期リハビリテーション地域連携研究講座	寄附講座准教授 越智 光宏	2023年4月1日～2027年3月31日
広島県尾三地域外科医療支援講座	寄附講座教授 大枝 守	2024年4月1日～2026年3月31日

共同研究講座の設置

講座名	教員	設置期間
インドネシア医療関連共同研究講座	共同研究講座教授 糸 直人	2022年4月1日 ～ 2025年9月30日
漢方医学共同研究講座	共同研究講座助教 河原 章浩	2023年4月1日 ～ 2028年3月31日





第 183 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 7 年 9 月 2 9 日

ひろティー & カープコラボグッズ新商品のお知らせ

「ひろティー」と「カープ坊や」のタオルマフラーを製作しました！

広島大学公式キャラクター「ひろティー」と、広島東洋カープとのコラボレーショングッズに新たに「タオルマフラー」が登場しました。本商品はひろティーとカープとのコラボ商品としては第 5 弾※となります。

※第 1 弾：ミニタオル、第 2 弾：トートバッグ、第 3 弾：T シャツ、第 4 弾：ボールペン

広島大学とカープは地域との連携強化を目的に、過去にもさまざまなコラボグッズを展開しています。

地域・世代を超えた一体感を応援グッズで演出することを狙いとしており、本学と地元球団であるカープとの地域連携の一環として、学生や教職員、地域住民の皆さまに愛される商品づくりを目指しています。

【商品情報】

商品名：ひろティー® & カープコラボグッズ タオルマフラー

発売日：2025 年 8 月 7 日

販売場所：広島大学消費生活共同組合（東広島、東千田キャンパス）

一般財団法人 緑風会（霞キャンパス）

広島大学 きてみんさいラボ（広島 JP ビルディング内 2 階）

販売価格：2,500 円（税込）

サイズ：約 20cm × 110cm

素材：綿 100% ジャガード生地（国内生産）



【お問い合わせ先】

広報室

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp



高校生・受験生の方

広大へ留学希望の方

一般・地域の方

企業・研究者の方

卒業生の方

保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活
・就職

研究

社会・産学連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

[Home](#) > [広報・報道](#) > [広島大学グッズ一覧](#) > [ひろティー®&カープコラボグッズ](#)

プレスリリース

広報誌・刊行物

学長定例記者会見

広島大学グッズ一覧

> 広島大学オフィシャル
グッズ> マスコットキャラクタ
ーグッズ

> HUオリジナルグッズ

> ひろティー®&カープ
コラボグッズ> 広島大学75+75事業グ
ッズ

メディアでの紹介

公式ウェブサイトについて

公式ソーシャルメディア ア
カウント X(旧Twitter)日
本語版 X(旧Twitter)英
語版 Facebook日本語
版

Facebook英語版

Instagram

YouTube

LinkedIn

[English](#) >

ひろティー®&カープコラボグッズ

ひろティー®&カープコラボグッズ



広島大学マスコットキャラクター「ひろティー®」と広島東洋カープとのコラボレーショングッズです。

東広島キャンパスの広島大学生協 北1コープショップ・西2コープショップ、霞キャンパスの病院売店およびプラザみどり、東千田キャンパスの広島大学生協で販売しています。

野球のバッティングヘルメットをかぶった「ひろティー®」と学帽をかぶったカープ坊やのオリジナルデザインです。

「ひろティー®」の詳細は[こちら](#)



ITEM LIST



NEW !
タオルマフラー

本体サイズ(cm) : 約20×110
材質 : 綿100% ジャガード生地
2,500円(税込)



ボールペン

本体サイズ(mm) : Φ13.5×140
材質 : PS樹脂
500円(税込)

Tシャツ

2,700円(税込)

※数量限定商品のため品切れの場合がございます。あらかじめご了承ください。

材質 : 綿100%
本体サイズ : M/L/XL

【寸法:cm】			
Size	M	L	XL
身幅	69	73	77
肩幅	52	55	58
袖丈	20	22	24



ミニタオル
サイズ : 約20×20 cm
600円(税込)



トートバッグ
材質 : コットン
本体サイズ : 390mm×380mm×120mm
1,500円(税込)

販売場所・お問い合わせ先

【東広島キャンパス】

【東千田キャンパス】

広島大学消費生活協同組合

北1コープショップ

T E L : 082-423-8285

E-mail: service@hucoop.jp

西2コープショップ

T E L : 082-424-0920

E-mail: shophonbu@hucoop.jp

その他

北2コープショップ(教育学部棟近辺)/大学会館コープショップ(生物生産学部近辺)のお店でも一部商品を取り扱っています。

生協ホームページ

<https://www.hucoop.jp/>

営業時間

<https://vsign.jp/hiroshima/maruco>

営業時間の確認は、ホームページ内の上記URLに更新されています。





令和 7 年 9 月 29 日

広島大学 原爆放射線医科学研究所
被爆 80 年企画展示
『グビロが丘の祈り、フェニックスの誓い』を開催します
(10/14~12/25 開催)

1. 企画趣旨

本企画は、広島大学原爆放射線医科学研究所（原医研）と長崎大学原爆後障害研究所（原研）による被爆 80 年の特別企画です。これまで両研究所は、被爆医療、放射線障害等における被爆地の研究組織として、長く連携してきましたが、協同での展示は今回が初めての試みとなります。被爆地における大学の、原爆被爆に由来を持つ医学研究所のこれまでを、両研究所の所蔵する貴重な資料とともに、振り返ります。

2. 展示について

【期間】 2025 年 10 月 14 日(火)~12 月 25 日(木)

10:00~16:00(土日祝日を除く)

【会場】 広島大学 医学部 医学資料館 (広島市南区霞 1-2-3)

【来場方法】 入場無料 事前予約不要

3. タイトルについて ※チラシ参照

『グビロが丘』とは長崎医科大学（現長崎大学医学部）に由来する言葉で、ほぼ爆心地となった同大学では、多くの教員や医療従事者、そして学生の犠牲を出しました。生き残った学生が、友人の遺骨を集め、慰霊した場所が、『グビロが丘』でした。

『フェニックス』とは、戦後の新制・広島大学で制定された学章のモチーフとなった植物で、学内でもよく植えられています。これは、不死鳥のフェニックスに由来する通り、原爆被爆に負けない、学術の復興を決意した象徴です。

4. 展示の特徴

【**広島と長崎の医学を総合的に見る**】 広島と長崎の被爆医療研究について、別々に見せるだけでなく、これまで両地・両研究所で行ってきた歴史を総合的に展示します。

【**長崎の資料の紹介**】 広島ではなかなか知る機会の少ない、長崎での被爆医療研究の記録や資料の展示を行います。

【**「触れる資料」の展示**】 レプリカ資料を展示し、実際の医学記録を間近に感じてもらいます。この展示方法は、今回が初です。

【**他の記念行事や機関との連携**】 本企画は、7 月より長崎大学医学部原爆復興 80 周年記念講演会を皮切りに長崎でスタートし、9 月には福島でも東日本大震災・原子力災害伝承館でも開催します。また、10 月に広島で行われる日本放射線影響学会にも出展するなど、学術活動にも参加します。更に、秋に長崎と広島で行われる国際的な世界大会（IPPNW 世界大会（長崎）とパグウォッシュ会議世界大会（広島））でも英語パネルでの展示を行い、多くの海外の参加者の方々にもご覧いただきます。

【**今回のみ、本格的資料展示**】 上記の通り、7 月より各地で展示を展開させていただいていますが、それらの中心はパネル展示です。10 月からの医学資料館での本企画のみが、資料を中心とした展示となります。また、他と比べて会期も長く設けました。多くの方には是非ご参加いただきたいと思います。

【お問い合わせ先】

広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部
(担当：久保田) TEL:082-257-5877

被爆80年

広島大学原爆放射線医科学研究所
長崎大学原爆後障害医療研究所
共同特別企画

原爆は実に多くの過酷な人生を生み出しましたが、被爆地の大学の医学部も、その一員でありました。

広島大学医学部は1945年8月5日に開校しました。

長崎大学医学部はほぼ爆心地となり、夏休みを返上して学ぶ学生、いつも通りの営みのはずであった研究者や病院は、突然大変大きな打撃を受けました。生き残った学生たちは、季節になると虞美人草が咲き誇る、医学部キャンパス近くの「グビロが丘」に、散り散りになった亡き友たちの遺骨を少しずつ拾い集め、慰霊碑を建てました。

広島大学は、戦後、学問の復興への決意を、力強くよみがえる不死鳥（フェニックス）の名を持つ植物に託して学章としました。

被爆に屈しない80年を過ごしてきた被爆地。その地の大学では、被爆医療、原爆医学研究に取り組み、現在もその原点を継承しています。今回はその取り組みの一端をご紹介します。

2025年度 企画展示

グビロが丘の祈り、 フェニックスの誓い

—被爆の医学を追い求めたヒロシマとナガサキの80年—

会期

2025年 10月14日(火)
～12月25日(木)

資料展示・パネル展示

会場

広島大学医学部
医学資料館

入場無料

広島大学霞キャンパス(大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所
共催 放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)
協力 広島大学医学部
企画・製作 原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

問い合わせ 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部 電話:082-257-5877

2025年度企画展示
グビロが丘の祈り、フェニックスの誓い
開催スケジュール

ご来場前に以下の最新情報をご確認ください。



<https://www.genken.nagasaki-u.ac.jp/abcenter/> お知らせ欄よりリンク

長崎開催

- 7月14日(月) 13:00~17:00
長崎大学医学部原爆復興80年展示と共同 会場:出島メッセ 1階会議室101-C(長崎駅前)
- 7月15日(火)~8月9日(土) 10:00~16:00
長崎大学医学部原爆復興80年展示と共同 会場:長崎大学医学部基礎研究棟ロビー
- 8月20日(水) 10:00~16:00
広島大学・長崎大学学生によるピースマッチ 会場:長崎スタジアムシティ・ハピネスアリーナ
- 10月2日(木)~10月4日(土) 10:00~16:00 英語展示 学会参加者のみ
核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会出展 会場:出島メッセ コンベンションホール2

福島開催

- 9月17日(水)~10月10日(金) 9:00~17:00
会場:東日本大震災・原子力災害伝承館 エントランスホール *休館日…火曜日(火曜祝日の場合は翌平日)

広島開催

- 10月14日(火)~12月25日(水) 10:00~16:00
会場:広島大学医学部医学資料館(広島大学病院前) ※土・日・祝日休館
- 10月23日(木)~10月26日(日) 英語展示 学会参加者のみ
日本放射線影響学会 第68回大会出展 会場:広島国際会議場
- 10月26日(日) 学会参加者のみ
第65回 原子爆弾後障害研究会出展 会場:広島国際会議場
- 11月1日(土)~11月5日(水) 英語展示 学会参加者のみ
パグウォッシュ会議世界大会(広島大会)出展 会場:広島国際会議場